

社会総ぐるみによる人づくりの「合言葉」

「育もう 地域の愛で 子どもの未来」～ 大人が子どもの手本となり、みんなで人間力を高めます ～

夏の暑さもようやく落ち着いてまいりました。桜の木は、高温が続くと蒸散を防ぐために自ら葉を落とすのだそうですが、今年は特に多かったように感じています。夕暮れ時、窓越しに外を眺めていると、風に揺れる枝葉から黄褐色の葉がひらひらと舞い散る様が見られ、冬に向けての様相と錯覚を抱くほどでした。

さて、いよいよ1学期も終わりに近づいてきました。これからは、2学期に向けて、遠足、運動会、陸上大会など、大きな行事を見据えての生活になります。ご家庭との連携をしっかりと図って、子供たちの健康管理に努めていきたいと思ひます。ご協力をどうぞよろしくお願いいたしします。

◇ 家族ふれあい読書(うちどく) ◇ — 深まる 家族のつながり —

夏休みには“家読”にご協力くださりありがとうございました。お子さんとの時間を楽しみにされている方もいらっしゃると思います。図書室前に掲示された記録カードには、子供たちの素直な感想とともに、お子さんへ向けられた保護者の皆様、お一人お一人のメッセージが目に残ります。



「子供の感想に我が子の成長を感じています」「自分が子供の頃に読んだ本に、子供が新しい発見を与えてくれました」というものや、「兄弟で同じ本を読み、それぞれが抱く感想の共通点や相違点を豊かに楽しんでいる方」「“生き方”に対するお子さんの考えに寄り添い、親としての責任とともに応援する言葉を綴っている方」「物語の登場人物の心情と対比させながら、お子さんへの思いを伝えている方」など、様々な視点からのメッセージを興味深く拝見いたしました。それぞれに“家読”の様子が目に浮かび、心が温かくなりました。

◇ 宮っ子チャレンジ ◇ — お兄さん、お姉さん あいごと —



9月9日(月)から5日間、25日(水)から3日間、職場体験学習として中学2年生が来校しました。生徒さんたちは、皆本校の卒業生で、授業の様子を見たり、時には活動をサポートしたり、小学生と一緒に清掃をして、休み時間には遊んだりおしゃべりをしたりするなどして過ごしました。先生の授業の工夫を知り、一人一人に寄り添う先生の姿を観察し、先生がどのように小学生と向き合っているのかを記憶に留めていきました。改めて、職業としての「教師」の存在に目を向けられたようです。「小学生のときに委員会などでお世話になった先生に会えて、さらに身近に感じる事ができて印象深いです」と話す生徒さんもあります。中学生の皆さんが、教師の魅力を少しでも感じ取ってくれたのであればとてもうれしいことです。

校長からは「職場体験学習に豊南小を選んでくれてありがとう」と伝えました。短い期間ですが、小学生にとっては“非日常の楽しいひととき”になります。中学生のお兄さん、お姉さんとのおしゃべりや触れ合いは、無条件に心を許せて楽しめるものです。子供たちの学校生活に潤いを与えてくれました。

◇ おひさま ◇ — 広がる 夢の世界 —



9月12日(木)、夏休み明け初めての「おひさま」の皆さんによる読み聞かせがありました。お忙しいところ、早朝から来校してくださりありがとうございます。絵本が開かれると、たちまち子供たちの目は釘付けになり、子供たちは「おひさま」の皆さんの語りに想像力を働かせ、夢の世界に入り込みます。

朝の読み聞かせは子供たちに穏やかな時間を与え、落ち着いた雰囲気の中で1日のスタートを切ることができます。また、本に興味をもち、本を好きになるきっかけを与えてくれます。様々な本との出会いによって、子供たちの語彙力や表現力が養われ、感受性が豊かに醸成されます。子供たちの心を育む大切な機会を与えてくださっている「おひさま」の皆さんに改めて感謝申し上げます。

◇ 3年 校外学習 ◇ — 見て 聴いて 発見して 生きた教材 —



9月12日(木)、3年生が地域のスーパーマーケットを見学しました。普段は入れないバックヤードにも案内していただくなど、子供たちはワクワクしながら店内を見て回ります。たくさんの商品に目をぱちくりさせながら、見て分かったことや店員さんの説明にメモを取ります。インタビューや買い物も体験することができ、現地での学習は深い学びの機会となっていました。

「ここは通路だからこっちで待ってよう」とささやく声が聞こえてきたり、足音をできるだけ立てないように気を付けて歩いたりするなど、マナーよく見学している姿も多く見られました。

スーパーマーケットの店長様をはじめ関係者の皆様、地域のお客様、保護者の皆様、子供たちの活動にご理解とご協力をくださり、温かく見守っていただきましたことに感謝申し上げます。

◇ 家庭科の授業～ミシンを使って～◇ —100%から120%へ ボランティアの皆様に感謝—



5年



6年

5、6年生は、家庭科の授業でミシンを使う学習に入っています。家でもミシンを使ったことがあると話す子もいますが、日常的に触れている子はそれほど多くないと思われます。そのような子供たちにとっては、視覚教材等を活用して事前の学習に取り組んでいても、1つ1つの手順を確認しながら実際に作業を進めるのはなかなか難しいことでしょう。ボランティアの皆様が一人一人の様子を見守り、個々の進み具合やつまずきにに応じて、丁寧にアドバイスをしてくださることで、教育効果を120%以上の水準にまで引き上げてくださっています。

「さすが6年生、去年やっているから違いますね。」と、あるボランティアさんは話します。皆様のお力添えもあって、技能が継続的に高まっていくのはうれしいことです。

◇ 5年生 稲刈り 体験 ◇ — 地域の教育力、教育資源に感謝 —



9月26日(木)に5年生が稲刈りを体験しました。地域の方のご厚意で、毎年、田植えと稲刈りの体験をさせていただいております。近年は猛暑により、田の管理が難しくなっているようです。田が干上がって実を付けずに枯れてしまう稲も多かった中、子供たちのために、水を切らさないように田を管理していただき、稲刈りができるよう整えてくださいました。暑い中、本当にありがとうございました。

子供たちも、初めはぎこちなかった鎌の使い方にも慣れ、次第に上手にできるようになりました。保護者や地域の方のご協力もあり、貴重な体験活動を安全に実施することができました。体験は、成長とともに子供たちに経験として残り、教室での学びを確かな知識として身に付けさせる支えとなります。ご協力ありがとうございました。